

2011年3月期
第2四半期
決算説明会

代表取締役社長
芳井 順一

2010年11月11日

決算の概況(連結)

計画どおり進捗。医療用漢方製剤の売上高は堅調に推移。

(百万円)

	計画	当第2Q	計画比		前同比	
			金額	増減率	金額	伸長率
売上高	45,300	45,375	75	0.2%	853	1.9%
営業利益	9,000	9,811	811	9.0%	850	9.5%
経常利益	9,100	9,818	718	7.9%	966	10.9%
当期純利益	5,300	5,913	613	11.6%	802	15.7%

	計画	当第2Q	前第2Q
営業利益率	19.9%	21.6%	20.1%

中間配当 <small>(1株当たり配当金)</small>	26円	28円	23円
--------------------------------	-----	-----	-----

2円増額修正

決算の概要(計画比)

	計画比		要因
	(百万円)	(増減率)	
売上高	75	0.2%	医療用漢方製剤は計画どおり進捗 数量ベースの伸長率<実力値>約9%増
販管費	▲754	▲3.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・3.5億円<経費効率化など> ・4億円<期ズレ> →広告宣伝費1.5億円 →修繕費1億円 ほか
営業利益	811	9.0%	-
経常利益	718	7.9%	-
当期純利益	613	11.6%	-

決算の概要(前同比)

	前同比		要因
	(百万円)	(増減率)	
売上高	853	1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用漢方製剤は金額ベース4.4%増。 ・アスタットの譲渡、シンフェーズの販売終了、他社受託品の売上減による影響額は、7.5億円(▲1.7ポイント程度)。
営業利益	850	9.5%	営業利益率は21.6%と1.5ポイント上昇中
経常利益	966	10.9%	-
当期純利益	802	15.7%	-

医療用漢方製剤(129品目)【実売】数量の伸長率

「実力値」

実売・数量ベースの伸長率に変動要因を加味した数字

生産計画や設備投資等の観点から、正味の実力値である
実売・数量ベースのトレンドを見極めなければならない。
そのために、変動要因を加味して、常に数字(実力値)を
把握している。

ツムラ医療用漢方製剤 実力値(実売・数量ベース)

【実績】2010年度上期<医療用漢方製剤>伸長率

実数値	実売	出荷
数量	9.7%	8.8%
金額	4.4%	4.4%

<実売・数量伸長率>

	上期(実績)	下期(見込み)	通期(見込み)
実数値	9.7%	10.2%	10.0%
変動要因	リバウンド Δ1.2p 季節変動 +0.7p	買い控え Δ1.3p 季節変動 +0.2p	リバ・買控 Δ1.3p 季節変動 +0.4p
実力値	9.2%	9.1%	9.1%

変動要因を加味すると、実力値は計画通り、ほぼ9%で推移

2011年3月期 通期業績予想

2011年3月期、2012年3月期の売上高・利益の計画変更無し

2011年3月期の期末配当を2円増額し、年間配当予想は56円に

	2011/3予想	前期比		2012/3計画
		金額	伸長率	
売上高	93,100	2,166	2.4%	100,000
営業利益	19,600	661	3.5%	23,400
経常利益	19,800	728	3.8%	23,600
当期純利益	11,500	795	7.4%	13,800

営業利益率	21.1%	—	—	23.4%
-------	-------	---	---	-------

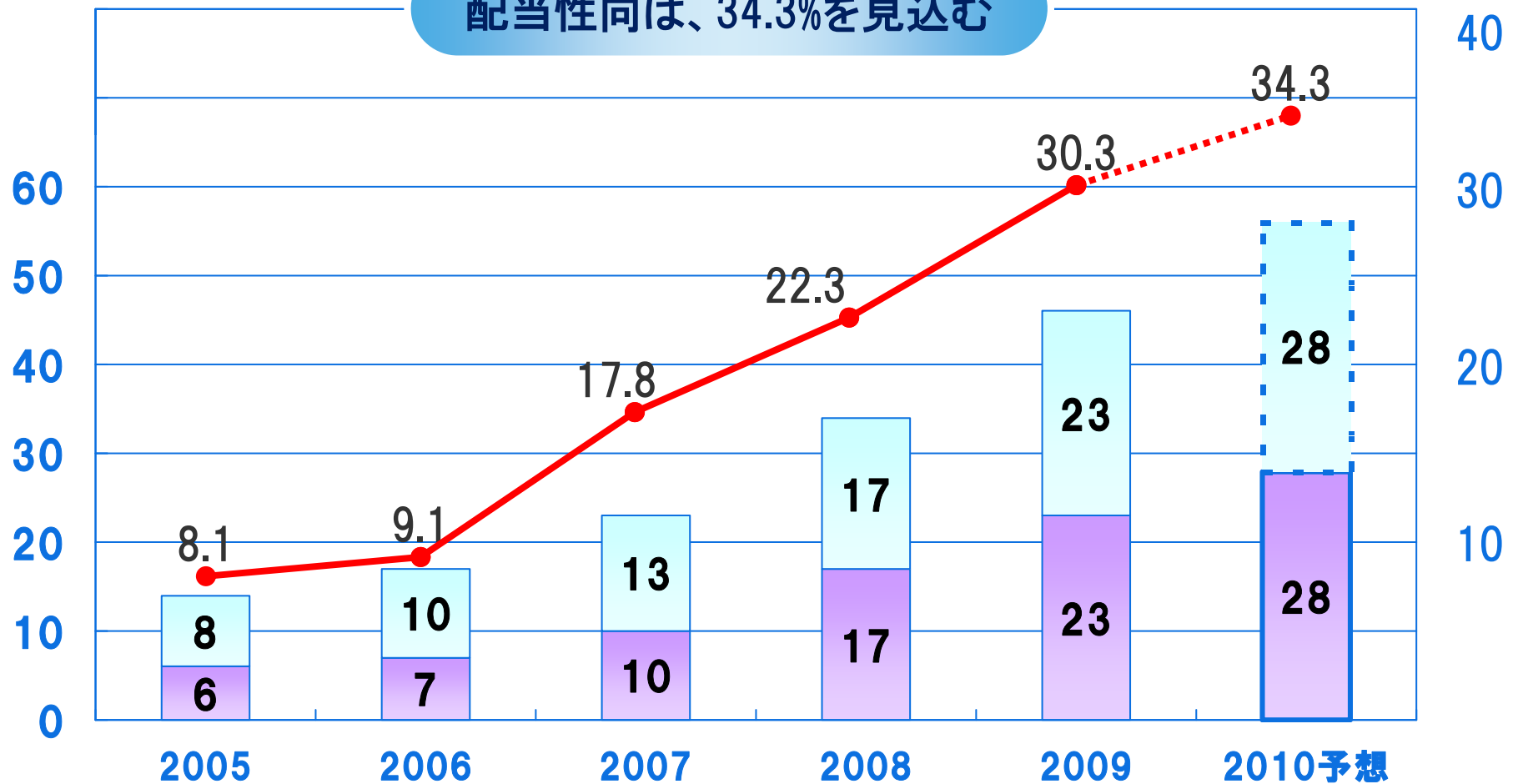
2011/3	当初予想	修正	前期
年間配当(1株当たり配当金)	52円	56円	46円

配当政策

配当(円)

配当性向(%)

配当性向は、34.3%を見込む



漢方医学の確立(大学における教育)

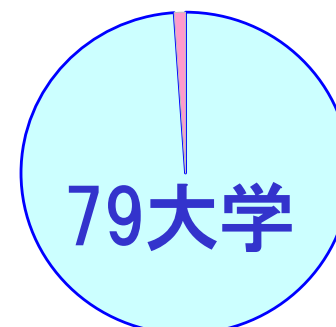


大学医学部・医科大学における漢方医学教育の状況

8コマ以上必修化



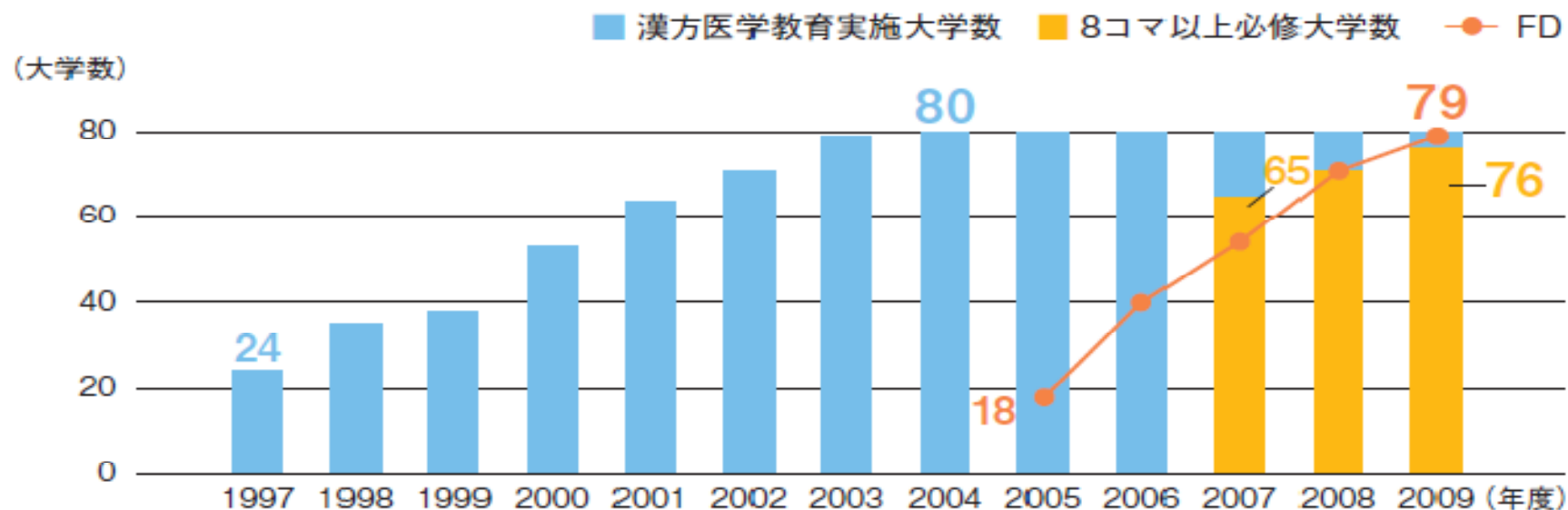
FD:大学主催の講師育成制度



<2010年10月末現在>

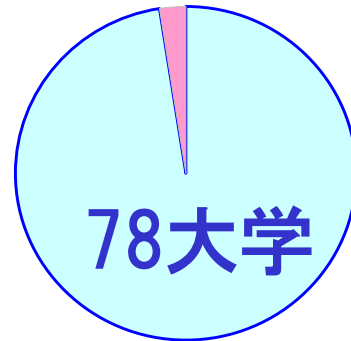
<大学医学部・医科大学における漢方医学教育の状況>

<2010年3月末>



大学病院における漢方外来の設置数

漢方外来

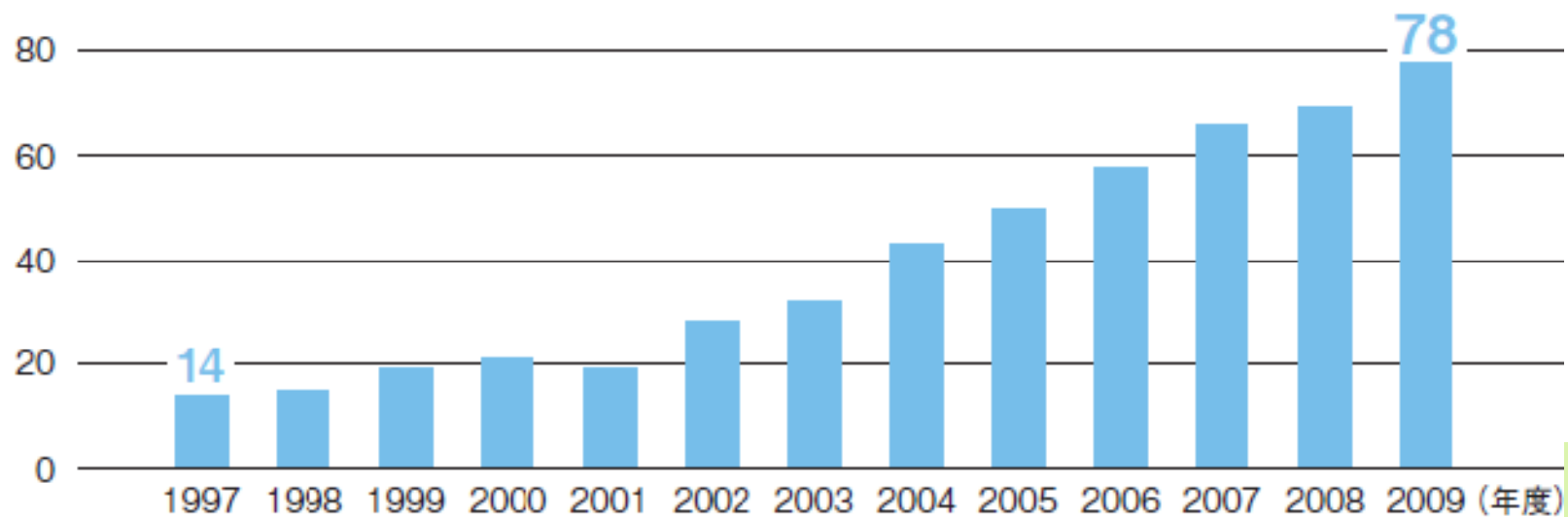


<2010年10月末現在>

<大学病院における漢方外来の設置数>

<2010年3月末>

(大学病院数)



育薬5(3+2)処方およびTU-100



大建中湯の日米の進捗状況

計画どおり進捗している。

<大建中湯>

日本<育薬>

「DKTフォーラム」 2007年発足

- ・大腸班の臨床試験(2009年1月～)
- ・臨床薬理班の臨床試験(2009年3月～)
- ・肝外科班の臨床試験(2010年2月～)
- ・胃・食道班の臨床試験(2011年1月～)

基礎研究データの報告

- ・ 国際学会
- ・ 国際誌への掲載

米国<開発>

忍容性試験終了
(2008年)

↓
臨床薬理試験(健常人)終了
(2010年)

↓
臨床薬理試験(患者)開始
(2010年8月～)

ドクター同士の
情報交換

連携

生薬の調達



中国 今後も主たる調達国

日本 国内栽培の強化

ラオス 自社農場での栽培開始

中国からの生薬調達

原料生薬：予定どおり調達できている。

＜継続した協力関係＞

- ◎ツムラ中国協力会を12月1日に開催予定
- ◎研究機関と共同で栽培研究を実施 など

ツムラ中国協力会

2008年度より、中国シンセン市にて毎年開催

中国の産地会社の役職員など総勢100名が参集

当社の原料生薬に関する方針や取り組みについて情報共有



2009年12月2日開催

北海道(夕張ツムラ)



生薬倉庫・生薬加工場



センキュウ畑



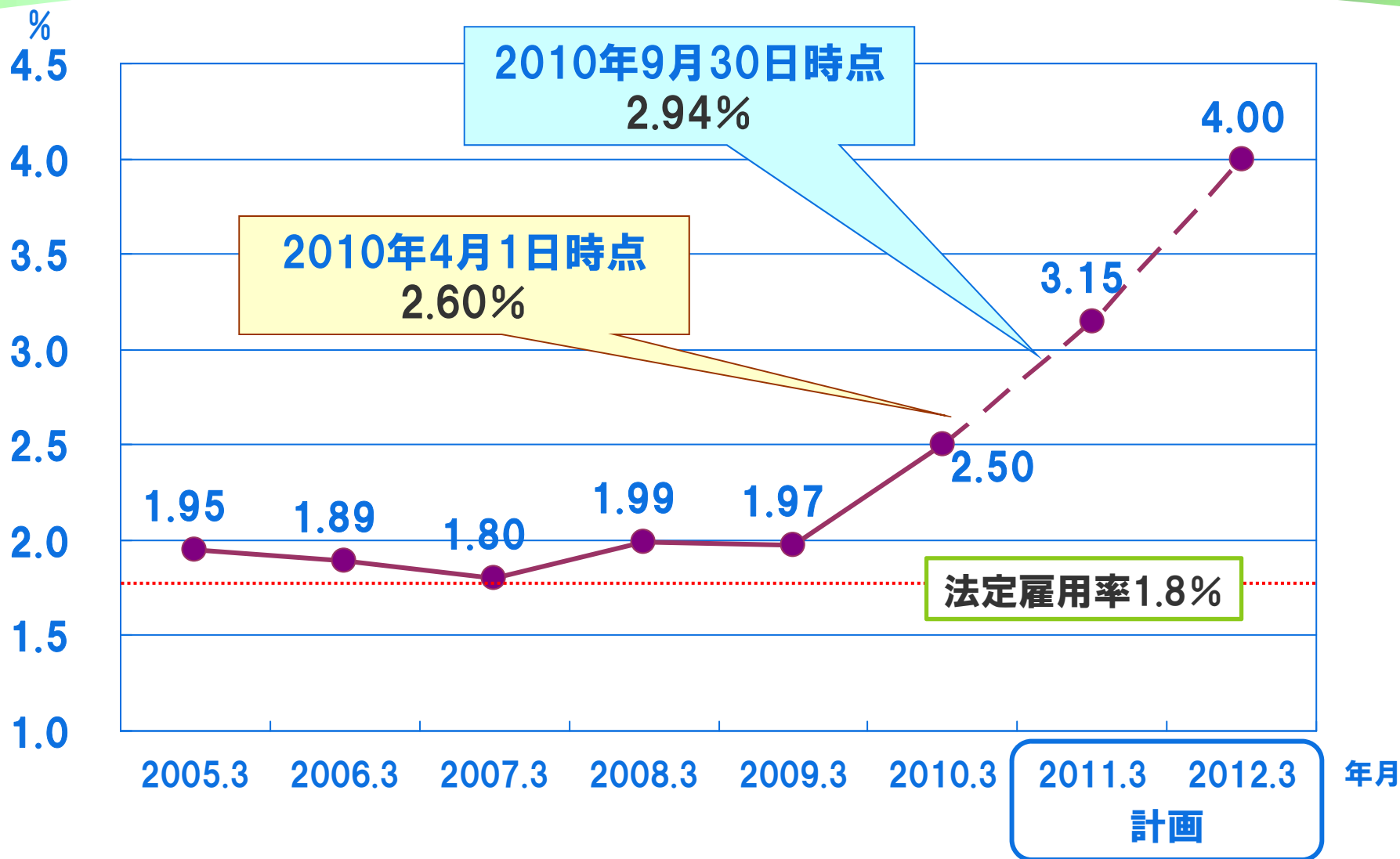
回転式ドラム乾燥機

11月1日 夕張ツムラの竣工式を開催

夕張ツムラを道内における生薬の集積地とする。

道内において、機械化による大規模な生薬栽培を拡大する。

ツムラの障がい者雇用率



漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献する

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ
コーポレート・コミュニケーション室
IR推進グループ
TEL:03-6361-7101

注意事項

本説明会において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。将来の予測等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって、実際の業績等は予想値とは異なる結果となる可能性があります。

また、医薬品に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。